



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月10日

上場会社名 フロイント産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6312 URL https://www.freund.co.jp

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 伏島 巖

問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部長（氏名） 関和 宏昭 (TEL) 03-6890-0750

半期報告書提出予定日 2025年10月10日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	12,535	34.6	1,343	—	1,387	—	896	—
2025年2月期中間期	9,313	△2.8	△131	—	△96	—	△118	—

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 799百万円(—%) 2025年2月期中間期 △193百万円(—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	52.99	—
2025年2月期中間期	△7.00	—

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期中間期△19百万円 2025年2月期中間期△23百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	27,349	15,839	57.9	935.73
2025年2月期	26,559	15,437	58.1	912.56

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 15,839百万円 2025年2月期 15,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	4.7	1,500	24.8	1,500	23.0	1,000	56.8	59.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料10ページ(4)中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年2月期中間期	18,400,000株	2025年2月期	18,400,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	1,472,873株	2025年2月期	1,483,743株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年2月期中間期	16,917,659株	2025年2月期中間期	16,901,596株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	13
受注及び販売の状況	13

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、全体としては緩やかな回復基調を維持しております。物価上昇が続く家計への負担が懸念される中、雇用・所得環境は緩やかに持ち直しており、消費者マインドの改善に遅れがみられるものの、持ち直しの動きも確認されています。一方、企業による設備投資は堅調さを維持しており、人手不足を背景とした省力化やデジタルトランスフォーメーション(DX)対応の投資などが引き続き活発化しています。

世界経済は、米国の関税政策およびウクライナ・中東などの地政学的リスクの影響を受けつつも、足元では安定した成長を維持しています。しかし、関税政策による実態経済への影響が今後顕在化する可能性があり、わが国および世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要ユーザーである医薬品業界では、医薬品供給不足が深刻な課題として引き続き重要視されています。特にジェネリック医薬品業界では、安定供給と将来の需要増加に備えるため、生産設備への投資が活発化しており、各社が生産能力の強化や効率化に取り組んでいます。

こうした中、当社グループは、国内外の製薬企業と連携を図り、設備投資需要に応えることで、医薬品供給不足の解消や製薬業界全体の安定供給体制の構築に寄与しております。また、新規設備のみならず、既存設備の保守サービスなどを通じて、当社製品の信頼性を高め、ユーザー企業における生産効率化に寄与することで、医薬品供給不足という社会課題の解決に貢献してまいります。海外市場においては、アメリカ、イタリア、インド、中国に日本を加えた「グローバル5極体制」の連携を強化し、各地域のニーズに応じた製品・サービスの展開を推進しています。特に、新興国市場では人口増加と医療需要の拡大が予想される中、現地パートナーとの協力体制を強化し、「FREUND」ブランドのさらなるプレゼンス向上を目指してまいります。

このような環境下において、当中間連結会計期間の業績は、売上高は125億35百万円(前年同期比34.6%増)、営業利益は13億43百万円(前年同期は1億31百万円の営業損失)、経常利益は13億87百万円(前年同期は96百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億96百万円(前年同期は1億18百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

国内機械につきましては、ジェネリックメーカーの生産設備の納品を中心に、売上は前年同期比増加となりました。また、受注高も前年同期比で増加しており、受注残高についても高水準を維持しております。前年同期比で販売費及び一般管理費が減少していますが、主な要因は前年同期に計上した基幹システムの更新に伴う一時的な費用の影響です。

また、米国子会社の売上高も前年同期比で増加していますが、これは前期の製品出荷が年度の後半に偏っていた一方、今期は第1四半期連結会計期間から製品出荷が進んでいることによります。

この結果、売上高は92億5百万円(同50.5%増)、セグメント利益は10億98百万円(前年同期は75百万円のセグメント損失)となりました。

・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内ユーザーにおける生産調整の影響はあるものの、全体としては比較的堅調に推移しており、売上高は前年同期比で増加しています。

食品品質保持剤は、大口顧客の一部において事業継続の観点で複数社からの調達に切り替えたことによる影響等があり、売上高が前年同期比で減少したものの、その他の顧客向け販売は堅調に推移しています。

また、化成品部門でも前年度に計上した基幹システムにかかる一時的な費用の影響により、販売費及び一般管理費は前年同期比で減少しました。

この結果、売上高は33億30百万円(同4.1%増)、セグメント利益は5億89百万円(同97.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億90百万円増加し、273億49百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が13億28百万円減少したものの、現金及び預金が5億34百万円、電子記録債権が8億61百万円、仕掛品が5億68百万円、原材料及び貯蔵品が2億82百万円増加したことによるものであります。

また、当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億88百万円増加し、115億10百万円となりました。増減の主な要因は、支払手形及び買掛金が5億37百万円減少したものの、電子記録債務が5億6百万円、契約負債が4億15百万円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億2百万円増加し、158億39百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が4億73百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2025年4月11日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,152,751	5,687,710
受取手形、売掛金及び契約資産	5,315,450	3,986,912
電子記録債権	910,770	1,772,057
商品及び製品	874,313	911,167
仕掛品	3,660,790	4,229,323
原材料及び貯蔵品	2,980,052	3,262,353
前払費用	290,264	284,875
その他	499,126	560,139
貸倒引当金	△34,696	△35,118
流動資産合計	19,648,822	20,659,422
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,048,545	1,971,352
土地	1,147,991	1,147,482
その他(純額)	985,918	942,574
有形固定資産合計	4,182,455	4,061,409
無形固定資産		
ソフトウェア	531,363	475,135
ソフトウェア仮勘定	10,830	—
顧客関連資産	319,292	313,191
その他	26,560	21,543
無形固定資産合計	888,046	809,870
投資その他の資産		
繰延税金資産	536,982	535,768
その他	1,308,323	1,288,696
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	1,839,905	1,819,064
固定資産合計	6,910,408	6,690,344
資産合計	26,559,231	27,349,766
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,313,651	1,776,281
電子記録債務	791,194	1,297,858
短期借入金	108,848	101,423
未払法人税等	341,377	504,325
契約負債	5,241,452	5,656,600
賞与引当金	265,145	264,483
役員賞与引当金	33,560	16,750
その他	1,316,737	1,197,206
流動負債合計	10,411,969	10,814,930
固定負債		
リース債務	352,220	335,841
退職給付に係る負債	215,338	220,025
資産除去債務	67,529	67,596
その他	75,141	72,078
固定負債合計	710,228	695,540
負債合計	11,122,197	11,510,470

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,332,771	1,352,449
利益剰余金	12,587,188	13,060,831
自己株式	△693,219	△686,996
株主資本合計	14,262,340	14,761,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,035	91,731
為替換算調整勘定	1,059,984	943,410
退職給付に係る調整累計額	45,673	42,269
その他の包括利益累計額合計	1,174,692	1,077,411
純資産合計	15,437,033	15,839,296
負債純資産合計	26,559,231	27,349,766

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	9,313,820	12,535,753
売上原価	6,111,731	8,060,380
売上総利益	3,202,088	4,475,372
販売費及び一般管理費	3,334,020	3,131,536
営業利益又は営業損失(△)	△131,931	1,343,836
営業外収益		
受取利息	7,648	18,625
受取配当金	6,452	7,871
受取技術料	6,315	5,565
受取保険金	68,603	5,605
為替差益	—	26,147
その他	13,216	6,466
営業外収益合計	102,235	70,280
営業外費用		
支払利息	17,962	4,279
持分法による投資損失	23,278	19,542
為替差損	24,499	—
その他	1,187	2,478
営業外費用合計	66,928	26,300
経常利益又は経常損失(△)	△96,623	1,387,816
特別利益		
固定資産売却益	259	299
特別利益合計	259	299
特別損失		
固定資産除却損	4,276	9,420
特別損失合計	4,276	9,420
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△100,640	1,378,696
法人税等	17,719	482,146
中間純利益又は中間純損失(△)	△118,360	896,549
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△118,360	896,549

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△118,360	896,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,892	22,695
為替換算調整勘定	△100,106	△87,299
退職給付に係る調整額	△921	△3,403
持分法適用会社に対する持分相当額	30,806	△29,274
その他の包括利益合計	△75,115	△97,281
中間包括利益	△193,475	799,268
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△193,475	799,268

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△100,640	1,378,696
減価償却費	318,794	323,815
株式報酬費用	20,052	19,315
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,099	461
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,929	△91
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,273	△16,810
受取利息及び受取配当金	△14,100	△26,496
受取保険金	△68,603	△5,605
支払利息	17,962	4,279
為替差損益(△は益)	37,641	△43,731
持分法による投資損益(△は益)	23,278	19,542
有形固定資産売却損益(△は益)	△259	△299
有形固定資産除却損	4,276	92
無形固定資産除却損	—	9,328
売上債権の増減額(△は増加)	1,672,813	451,095
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,702,846	△918,790
その他の資産の増減額(△は増加)	111,867	△33,472
仕入債務の増減額(△は減少)	△405,593	△13,998
契約負債の増減額(△は減少)	1,149,154	440,626
その他の負債の増減額(△は減少)	102,744	△130,115
その他	66	718
小計	1,103,305	1,458,559
利息及び配当金の受取額	14,100	26,496
利息の支払額	△17,962	△4,279
保険金の受取額	68,603	5,605
法人税等の還付額	—	6,267
法人税等の支払額	△292,695	△329,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	875,351	1,162,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△144,570	△127,980
有形固定資産の売却による収入	259	300
有形固定資産の除却による支出	△4,276	△92
無形固定資産の取得による支出	△17,706	△11,625
投資有価証券の取得による支出	△1,002	△1,162
差入保証金の差入による支出	△3,458	△1,166
差入保証金の回収による収入	659	346
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,096	△141,381

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,434	△10,092
長期借入金の返済による支出	△2,878	△2,735
自己株式の取得による支出	△124	△1
リース債務の返済による支出	△47,640	△47,039
配当金の支払額	△335,125	△421,371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389,203	△481,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,696	△5,336
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	283,354	534,959
現金及び現金同等物の期首残高	4,736,849	5,152,751
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,020,203	5,687,710

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,115,100	3,198,719	9,313,820	—	9,313,820
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,115,100	3,198,719	9,313,820	—	9,313,820
セグメント利益又は損失(△)	△75,725	299,043	223,317	△355,248	△131,931

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△355,248千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「中間財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
7,117,910	521,801	366,432	615,149	312,941	379,585	9,313,820

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 中南米……………ブラジル、メキシコ等

(2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等

(3) アジア……………中国、インド等

(4) その他……………中東、アフリカ等

II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,205,714	3,330,038	12,535,753	—	12,535,753
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,205,714	3,330,038	12,535,753	—	12,535,753
セグメント利益	1,098,302	589,572	1,687,874	△344,038	1,343,836

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△344,038千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「中間財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	アジア	その他	計
8,299,478	1,950,603	838,692	417,767	893,079	136,130	12,535,753

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル、メキシコ等
- (2) 欧州 ……………フランス、イタリア、英国等
- (3) アジア……………中国、インド等
- (4) その他……………中東、アフリカ等

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	7,704,043	83.3	7,534,906	97.8

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	17,430,354	107.7	15,398,186	88.3

- (注) 1. 化成品部門は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	6,115,100	65.7	9,205,714	73.4
化成品部門	3,198,719	34.3	3,330,038	26.6
合計	9,313,820	100.0	12,535,753	100.0

- (注) 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。